

1. 第 20 期(平成 26 年度)事業活動に関する報告

(平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日まで)

事業活動に関する報告

平成 26 年 4 月 1 日をもって公益財団法人に移行し、池田記念スポーツ文化財団として新たな活動を開始した 1 年間でした。また、南魚沼市との間では、平成 25 年 12 月 5 日に美術館の管理運営に関する協定書(期間は、平成 26 年 4 月 1 日から平成 36 年 3 月 31 日まで)を締結し、当財団が主体的に美術館の運営に携わることで合意。4 月 1 日には年度協定書を交わし、管理運営の補助金として平成 26 年度は年間 300 万円の指定管理料が支払われることになりました。これによって、アート・文学・スポーツの分野を中心に南魚沼市との連携・協力体制がより一層強固になりました。

平成 26 年度の「国際的なスポーツの学術的研究に対する援助事業」と「環日本海沿岸諸国との国際交流援助事業」は応募者がなかったため、実施することができませんでした。そのため、27 年度は「市報みなみ魚沼」や「イケビふれあい通信」で告知するなど、広報活動を活発に展開しております。

展覧会部門は「国民栄誉賞 永遠のヒーロー長嶋茂雄展」「二科会新潟県会員会友 絵画彫刻展」で始まり、多数の来館者を迎えることができ、新財団のスタートを飾りました。また、南魚沼市市制施行 10 周年記念事業として「生誕 200 年 魚沼の石川雲蝶展」と「星野富弘花の詩画展」が採用され、地域文化の再発見と全国的に知名度の高い作家を紹介することができました。その他、地域密着の「八海山夢展」は 15 回目、写真展「魚沼ベストショット展」は 4 回目、「南魚沼郡市児童生徒美術展」は 4 回目の開催となりました。有料入館者数は前年度比 4,093 人増の 11,899 人と大幅に増加しました。これには「長嶋茂雄展」「石川雲蝶展」「星野富弘展」での入館者増が大きく貢献してくれました。

スポーツ関係部門では、「長嶋茂雄展」に合わせて開催した元巨人軍の篠塚和典氏による講演会や、各種スポーツカードの展示のほか、協賛事業として「上越沿線少年親善野球大会」「南魚沼グルメマラソン」などに参加しました。

有料のコンサート事業は予定演奏者との日程調整がつかず、中止となりました。今後は毎月開催している無料コンサートの充実を図ったり、展覧会と関連した演奏会なども企画したいと考えております。

収益事業としては「売店収益」「喫茶収益」「スポーツカードショー収益」がありますが、今年度はカードショーが年 2 回から年 3 回(春・秋・冬)の開催となりました。

毎年、冬期間になると入館者が減少する傾向にありますが、その対策の一つとして 1 月に地元のクラフト作家やカフェ、パン屋さんなどの協力で「真冬のクラフトマーケット」のキャッチコピーで「雪見展」を開催しました。2 日間で 1,200 人の来場者があり、大盛況でした。今後とも継続する予定でおります。

以下は前年度と比較した入館者数、有料入館者数、事業収益です。

H26 年度入館者数 19,597 人 (H25 年度 16,556 人)
H26 年度有料入館者数 11,899 人 (H25 年度 7,806 人)

	入館料	企画事業	カードショー	売店	喫茶	合計
H26 年度	5,552,515	3,782,688	1,377,220	3,963,328	1,181,938	15,857,689
H25 年度	3,677,800	2,374,488	987,180	2,081,002	1,283,461	10,403,931

(円)

1、スポーツの学術的研究に対する援助事業

※隔年（偶数年）開催事業。

2、環日本海沿岸諸国スポーツ国際交流援助事業

上記1,2とも募集をしましたが、応募がなかったため、実施できませんでした。

3、美術館事業

1) 美術展覧会部門

① 二科会新潟県会員会友 絵画彫刻展

会期：4月4日（金）～4月29日（火） 24日間 1,913人

公益社団法人 二科会の新潟県支部の会員、会友を中心にした展覧会。前年実施した十日町市出身の会員藤巻秀正氏の彫刻展が成功裡に終了し、その縁が取り持った企画展でした。二科会らしい個性豊かな作品で、絵画部門17名、彫刻部門6名の出品となり、会期中には解説会も開催しました。

② 新潟・群馬 一水会合同展

会期：5月3日（土）～6月3日（火） 28日間 1,187人

写実主義を掲げる絵画団体一水会。杉森企観明氏（一水会運営委員）など一水会新潟県支部（9人）と群馬県支部（28人）の合同展。寺井力三郎氏（運営委員）や山名将夫氏ら中央でも評価が高い作家が出展しました。新潟と群馬の合同展は初の試みで、写実の本道を守り続けている画風の作品が多く好評でした。

③ 四季の彩り 瀧澤徳展

会期：6月6日（金）～6月30日（月） 22日間 793人

日展等で活躍する洋画家・瀧澤徳氏の個展で、画業50年の集大成として約120点を展示しました。瀧澤氏の絵はほのぼのとした中にも力強さがあり、厳しい冬の景色でも希望が見て取れる独特の画風で、ファンも多く、また所属する光風会の会員も多数来場しました。6月7日には作家によるギャラリートークを開催しました。また、展示品を含む作品3点の寄贈を受けました。

④ 生誕200年 魚沼の石川雲蝶展 よみがえる名匠の息づかい

会期：7月4日（金）～7月28日（月） 22日間 1,748人

今回の展覧会では、雲蝶の生誕200年、また南魚沼市の市制施行10周年を記念し、南魚沼市と魚沼市の寺社や個人宅に秘蔵されている雲蝶作品を紹介し、南魚沼市の文化財について理解を深めることを目的として開催しました。関連イベントとして、中島すい子氏の講演会と画家・早津剛氏のギャラリートークを開催しました。

⑤ 第15回記念 八海山夢展

会期：8月2日（土）～9月2日（火） 28日間 2,078人

地元の美術家を中心に、ふるさとの風景・風習等をテーマにした作品5部門（絵画・書道・写真・水石・俳句）約120点を展示。今回は15回記念展として、実行委員会が協賛を募り、地元企業の八海醸造株式会社と株式会社 hakkai の2社から協賛していただきました。その協賛金で市報へチラシを折り込むなど宣伝に努めました。例年通り実行委員による実演と解説の「夢展・美のツボ」を開催、各部門で出展者と来館者の交流を図りました。

⑥ 大嶋月庵・桑原逸庵師弟展

会期：9月5日（金）～9月23日（火） 17日間 1,297人

自然との共生、畏敬をテーマに魚沼の農村を描き続け、日本水墨院理事長も務めた彩月会の創始者大嶋月庵氏と桑原逸庵氏の師弟展。大嶋氏は日本南画院で活躍、日本水墨院展で内閣総理大臣賞を受賞しました。弟子の桑原氏も前年同賞を受賞しました。今回

の企画では、大嶋氏の代表作吹雪シリーズをはじめ、初期の屏風も展示。桑原氏は最近の受賞作や、桑原氏の父で大嶋氏とも親交があった桑原芳逸の作品も展示し、魚沼の日本画の系譜の一端を紹介する展覧会となりました。

⑦ 日本水墨院新潟県支部彩月会水墨画展

会期：9月26日（金）～9月30日（火） 5日間 368人

水墨画団体彩月会の定期展覧会。当館で開催するのは7回目となります。彩月会の会員約30人の作品60点（賛助作品を含む）を展示しました。賛助作品は創設者の大嶋月庵氏の水墨画。今回は会員による席画（実演）も行いました。

⑧ 染め・村山雨景展

会期：10月3日（金）～11月4日（火） 29日間 1,934人

十日町市生まれの染色作家・染色画家村山雨景氏の個展。村山氏の個展は全国で開かれています。伝統的な染色技法だけでなく、独自の技法『雨景染絵』を編み出し、創作活動を続けています。ドイツ等海外でも個展を開き、幻想的画風がファンを増やしています。今回の展覧会は村山氏の画業50年の集大成となりました。また、染めの実演・解説会を2回開催しました。

⑨ 南魚沼市市制施行10周年記念 星野富弘「花の詩画展」

会期：11月8日（土）～12月8日（月） 27日間 3,673人

詩人・画家として数多くの詩画集や随筆集を発表している星野富弘氏。星野氏は体育教師でしたがクラブ活動の指導中頸髄を損傷、手足の自由を失いました。市制10周年記念事業として南魚沼市から補助金を受けて開催し、詩画作品50点を展示しました。また星野氏の講演会と富弘美術館学芸員による解説会を開催し、大変好評をいただきました。

⑩ 第59回 南魚沼郡市児童生徒美術展

会期：12月12日（金）～12月23日（火） 11日間 845人

南魚沼市及び湯沢町の子どもの作品、約500点を展示しました。子どもたちの創作意欲が「いきいき」と伝わってくる展覧会でした。期間中は入館無料とし、子どもと家族が一緒に鑑賞できるようにしました。

⑪ 魚沼ベストショット展 PartⅣ

会期：1月9日（金）～1月27日（火） 17日間 1,798人

魚沼地域の変化に富んだ美しい自然を、風景や暮らしなどからとらえた写真家の自慢のベストショット展。市内外に魚沼からのメッセージを発信する自然賛歌の展覧会で、今回で4回目となり、25人の写真家から出展していただきました。前回初めて実施し好評を博した「初心者向け写真教室」も開催しました。

⑫ 第20回 NPP 新潟県写真家協会展

【併催】第10回 公開審査フォトコンテスト展

会期：1月30日（金）～2月8日（日） 9日間 255人

2年に1回の新潟県写真家協会展を12月の本展に続き巡回開催しました。写真家協会会員の作品とフォトコンテストの入選者の作品を展示。フォトコンテストでは、池田記念美術館賞を新設しました。

⑬ 《魚沼発》22世紀への伝言板 美の先覚者たち

会期：2月10日（火）～3月3日（火） 19日間 666人

この展覧会では、美術界において戦後の魚沼を支えてきた長老たちを「美の先覚者」として、その美への探求心を掘り下げ、その努力と功績を後世に伝えていきたいと考え企画しました。同時に、次世代へのメッセージを伝言板として展示。湯沢町・南魚沼市・魚沼市・十日町市・小千谷市から11人の作家が出展しました。

⑭ 現代版画フォーラム in 新潟

会期：3月6日（金）～3月30日（月） 22日間 874人

日本版画会の新潟県支部と池田記念美術館が主催し、関東支部、福島支部の協力のもと開催しました。版画の展示だけでなく、版画フォーラム事務局長・高野勉氏のギャラリートークや、新潟支部の貝瀬利一氏・坂西徹朗氏の実演と小中学生向けの版画教室を開催しました。

2) スポーツ展覧会部門

① 国民栄誉賞 永遠のヒーロー・長嶋茂雄展

会期：3月30日（日）～4月29日（火） 29日間 2,206人

前年の5月5日に松井秀喜氏とともに国民栄誉賞を受賞した長嶋茂雄氏。そのときに長嶋氏がいただいた金バット、楯、賞状をスポーツカード展示室特設ブースに展示しました。また、長嶋茂雄氏の野球人生をひもとく写真パネルを展示し、記念の品々も展示しました。

4月5日には元巨人軍篠塚和典氏の特別講演会「長嶋茂雄氏を語る」を開催しました。終了後に少年野球教室も開催し、野球少年たちでにぎわいました。

② プロ野球 80年—新時代到来！ 「2014 ベースボールカード」の展示

会期：5月10日（土）～10月21日（火） 134日間 8,060人

創設80年を迎えたプロ野球を熱く応援するため、最新のベースボールカードを中心に展示。ドラフト1位指名、助っ人外国人のコーナーも作り、メジャーリーガーのサインボールや100年前の大リーグのカードも展示しました。

③ 「2014 サッカーカード」の展示

会期：11月1日（土）～12月23日（火） 42日間 5,037人

2014年J1リーグ優勝戦線展望特集として、上位5チームのチームエディションを展示しました。中央の特設ブースでは引き続き100年前の大リーグカードを展示しました。

④ 「2015 大相撲カード」の展示

会期：1月9日（金）～3月30日（月） 67日間 3,595人

2015年の大相撲カードを中心に「相撲錦絵カード」とともに展示。同時に戦前の力士の写真カードやメンコ等の珍しい資料を展示しました。あわせて、力士の手形のコーナーも作り、大鵬や千代の富士などの手形を紹介しました。

※入館者数については、美術展覧会とスポーツ展覧会の入館者数は明確な区分けができないため、同期間の入館者数は重複しています。

4、その他の事業

1) コンサート部門

① Colluce<カラーチュエ> コンサート

6月に実施予定でしたが、スケジュールの調整がつかず中止となりました。

2) スポーツ協賛部門

地域のスポーツ交流を促進していくために、主催、協賛、実行委員会参加等で地域のスポーツイベントに積極的に参加しました。

① 第65回ベースボール・マガジン旗争奪上越沿線少年親善野球大会

日時：2014年5月24日（土）～25日（日）

主催：公益財団法人池田記念スポーツ文化財団 / 株式会社ベースボール・マガジン社
共催：魚沼市教育委員会 主管：魚沼市野球連盟 後援：魚沼市体育協会
会場：広神野球場、薬師運動広場、青島野球場、小出中学校
記念講演会：24日 18:00～20:00 元ヤクルトの広澤克実氏による講演と実技指導

② 第10回さわやかジョギング大会

日時：2014年6月1日（日）9:00～11:30

主催：南魚沼市教育委員会

協賛：公益財団法人池田記念スポーツ文化財団 / 株式会社ベースボール・マガジン社

会場：八色の森公園周辺特設コース

③ 第5回 南魚沼グルメマラソン

日時：2014年6月8日（日）8:30～17:00 前夜祭：7日（土）14:00～17:00

主催：南魚沼グルメマラソン実行委員会

実行委員会に1名参加、出展業者として物販（ウェア、ラフカディオ珈琲、入館券他）参加

④ 第7回 八色の森健康ウォーキング

日時：2014年9月23日（火） 9:00～12:30

運営役員として2名参加

5、収益事業

1) 売店収益

本年度も作家の小作品等をショップに飾り、企画展等に連動したミニギャラリーを開いて売上アップをはかりました。

2) 喫茶収益

景観とともに飲む一杯のコーヒーのおいしさを訴えて売上をのぼしてきました。2011年からジェラートを扱い、19期からは抹茶を出して新たな客層を呼び起こしてきました。今年度も企画展に連動してコーヒーチケットを事前発券したりすることで売上増を図りました。

3) スポーツカードショー収益

スポーツカード展示室との連動やスポーツファン、スポーツカードファンとの交流を促進し、スポーツカード文化の啓蒙とさらなる向上を目指しながら収益を拡大していく計画で、今年度はエントランスホールで3回実施しました。

① BBM スポーツカードショー2014 春の陣 in 浦佐（池田記念美術館）

日時：2014年4月13日（日）9:00～16:00 参加者 65名

② BBM スポーツカードショー2014 秋の陣 in 浦佐（池田記念美術館）

日時：2014年11月24日（月）9:00～16:00 参加者 57名

③ BBM 新年スポーツカードショー in 浦佐（池田記念美術館）

日時：2015年1月17日（土）11:00～15:00 参加者 38名